



2018年5月6日
サンディエゴの日本人
コミュニティ
と
プロフェッショナル
日本語135

春学期2018年

Introduction

Overview of the class: Who we are

The class called “Japanese for Professional Purposes” at UCSD has traditionally been a class where anyone is free to join as long as their skill level in Japanese is at least an intermediate level. Spring quarter of 2018, like previous quarters, has students of a variety of skill levels ranging from students at the intermediate level to native speakers and Japanese students. Although the class is relatively small, it provides students the chance to work in small teams and get closer together as a class, also making coordinating between students an easier feat to accomplish.

Holding an event for Children’s Day

We held an event on Children’s Day in Doyle Park, giving Japanese families the chance to make *koinobori* papercrafts and sing the song of *koinobori* and interacting with them with the goal of strengthening familial bonds and introducing opportunities to convey Japanese culture and teach English. Like in previous quarters of “Japanese for professional purposes”, our motivation for holding the event revolved around a central theme relating to societal issues which in this case was *kizuna*, or the bonds and relationships between people.

イントロ

プロフェッショナル日本語クラス

カリフォルニア大学サンディエゴ校に「プロフェッショナル日本語」というクラスがあり、日本語がupper divisionであれば3年生でも4年生でも5年生でも受けられるクラスです。このクラスには、毎学期複数の日本人のボランティアさんがいて、ネイティブの日本人の方と日本語学習者が日本の社会問題について調べたりディスカッションをしたりしながら、サンディエゴで実行できるコミュニティーベースのプロジェクト企画を作っ て最終的に社会貢献をすることを目指しています。

子供の日のためのイベント

2017-2018年度は「イクメン」や「リユーズ」というリサーチトピックが選ばれ、学生がサンディエゴの日本人コミュニティーにどのように貢献できるのかを話し合いました。その結果、3月には「ひなまつりイベント」に、5月には「子供の日イベント」にボランティアとして参加しました。子供の日イベントでは日本人のご家族と一緒に鯉のぼりを作ったり日本語と英語で鯉のぼりの歌を歌いました。パパ、ママ、お子さんが一緒に楽しめるアクティビティーを考え、親子の絆を深めるお手伝いできたことがとてもよかったです。

メンバー紹介



イチヒ・リュです。中国の出身で、歴史を専攻している3年生です。日本の歴史と文化に興味があるので、日本語を勉強しはじめました。普段は本を読むことが大好きで、小説と歴史についての本をよく読みます。ドラマを見ることも好きで、1番好きなドラマは「JIN-仁-」という現代から幕末へタイムスリップした医師のドラマです。また、日本の社会問題にも興味があるので、135を取りました。135でアクティビティーを通して、色んなことを学んだので、とても楽しかったです。



阪本佳音です。数学専攻の3年生です。生まれも育ちもアメリカのハーフですので、日本語力を高めるために日本語の授業をとっています。趣味は絵を描くことで、今はTEDxUCSDのクラブ活動に熱中しています。



シー・キーです。土木工学を専攻して、大学院2年生です。出身地中国の天津市です。このクラスのフライヤーを見て、プロジェクトベースだったので、とても面白いと思ってこのクラスをとりました。幼い頃から絵を描くことが大好きで、漫画風のキャラクターを描くこともたくさんあります。まだ上手とは言えませんが、今友達と同人誌を作っています。そして、日本のドラマや小説などが好きです。湊かなえの「Nのために」は、本でもドラマでもすごく良いと思います。



ステファニー・デニスです。出身はサンディエゴで、私の専攻は日本学です。今年卒業します。日本の文化や野菜の園芸に興味があります。日本語135を取った理由は専攻のためだけではなく、私の日本語の能力を高めるためです。日本語135のおかげで、少しずつプロフェッショナルに日本語を使うことができるようになりました。もしこのクラスを何度も取れるのであれば、取り続けると思います。



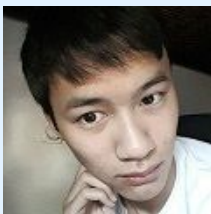
はるか・チェンです。今は大学1年生、専攻は地球科学です。好きなことはクラフトです。手作りのこと何でも好きでよく色々な物作りをします。今年のプロジェクトでクラフトを担当し、本当に嬉しかったです。私は将来、日本の大学院に進学したいです。日本語でプロジェクトをする経験を積むためにJAPN135を取りました。



ジョン・ヒョンスです。韓国出身で高校生の時ハワイに留学していました。大学1年生で、経済を勉強しています。スポーツや映画鑑賞や料理する事が好きです。子供の時はスピードスケート選手でした。スポーツはサッカーやスケートが好きです。日本語135Cの授業を取った理由は、実生活で活用できる言葉や敬語が学びたかったからです。イベントを開催した時色々な人達と日本語でコミュニケーションができてとても日本語力を鍛える事ができました。



ダニエル・タンです。テキサス州生まれで、コンピューターサイエンスを専攻している大学の2年生です。副専攻として日本語を勉強していて、日本語を話す機会を増やすために今学期JAPN135Cを初めて受けました。趣味は歌を歌うこととチェスをする事です。将来日本のGoogleに勤めることが夢です。

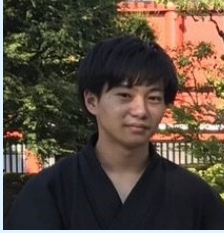


デレック・シェです。出身はサンフランシスコですが、家族の出身は中国の成都市です。2年生で、専攻は数学-コンピューターサイエンスです。趣味は読書とカラオケです。日本語を勉強するきっかけは日本のアニメや音楽で、今年は日本語を勉強して6年目になります。知識だけでなく、実際の社会で日本語が使えるようになるために今学期から135Cに参加しました。



バネッサ・ゲラです。UCSDの4年生です。日本学の学位を目指しています。私の趣味はアニメを見たり、漫画を読んだり、ビデオゲームをしたりすることです。将来は漫画の翻訳家になりたいです。高校生のころから私は日本語と日本の文化に興味があったので、UCSDのクラスで新たなクラスメートと一緒に日本に関する色々なことを学べたことが嬉しかったです。

ボランティア



菅原和弥です。大学3年次に1年間の休学をし、ビジネスを学びにUCSDに来ました。日本の大学では心理学を専攻しています。このクラスを取っていた友人の紹介で、ボランティアとして参加させていただきました。趣味は漫画を読むことです。



笠根麻理子です。2017年の10月に夫の留学をきっかけにサンディエゴに引っ越してきました。私自身、日本語を話す機会が欲しかったこと、また、日本語話者として学生の皆さんと交流したいと思ったことから、ボランティアとして参加させていただきました。趣味は料理・お菓子作りです。



シャオジュン・レイです。MCS専攻の大学4年生です。副専攻はデジタル音楽と日本学です。趣味は作曲とアレンジ、ゲームも好きです。去年も135シリーズを取りました。たくさん勉強になったので、今年はずっと日本の社会問題を学ぶためにボランティアとして参加しています。

講師



講師の武田泉です。1年を通したプロジェクト型の日本語クラスを教えていて、今年度の後半は「男女の社会的役割：イクメン」と「リサイクル：リユース」という2つのテーマに焦点をあてて学生のリサーチやプロジェクトを見守ってきました。2016-2017年度に行った「ファミリーコネクト」という日本人のご家族を繋げるコミュニティー活動が今も継続されており、今年はそのイベントで共同主催させてもらえたことで、コラボレーションの楽しさや難しさ、また参加者のニーズを考えることの大切さを学ぶことができました。今後も学生たちには「人の役に立つ」ようなプロジェクトを作っていってほしいです。

1年間のコースの流れ

私たちはカリフォルニア大学サンディエゴ校でプロジェクトベースの日本語授業を取っています。このクラスでは1年を通して以下のような取り組みをしています。

1. 日本の社会問題を研究
2. アメリカでこの社会問題が起こらないような予防策を考える
3. サンディエゴの日本人コミュニティに貢献できるプロジェクトを企画し実行

今年は日本での男女差別の問題に注目しました。1学期目は社会での男女差別を研究し、2学期目はその中でイクメンに注目してプロジェクトの計画を立てました。最後に、3学期目はイクメンとお母さんと子供の絆を深めるプロジェクトを考えて、実行しました。

1学期目：研究段階

研究段階では、日本でみられる色々な社会問題を研究し、そのどれが将来アメリカでも影響する可能性があるかを考えました。その後、さらに具体的に研究をし、プレゼンテーションで発表をした後、2学期目に何ができるかを考えました。

2学期目：プロジェクト計画

この学期は、最終的なプロジェクトがどのように実行するのかを具体的に考えました。そこで、ボランティアや他のイベントとコラボレーションをして、経験を積みました。

3学期目：実行

3学期目は前の学期の反省を生かしながら、実際にプロジェクトを実行する学期です。今年は親と子供の絆を深めながら、日本文化と英語の読み聞きを統合したイベントを行いました。その後、今年の135の反省を生かしながら、日本語授業のプロモーションビデオを作りました。

コメント



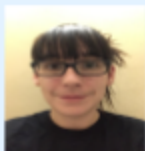
キー

秋学期に理論的なプロジェクトフォーミュレーションを勉強して、私のグループはパワーハラスメントについて研究しました。冬学期はその前の研究精神を引き継ぎ、初めてプロジェクトを形にして、雑祭りイベントを通してリユースのアイデアを活かせ、イベントやボランティア活動から春学期のプロジェクトはどのように取り組むのかという経験を積みました。今学期はグループメンバーたちと一緒にこどもの日のイベントを手伝いました。イベントはとても成功しましたが、私自身まだまだ不足しているところがあります。もしこれからこのようなプロジェクトに参加できる機会があれば、ぜひ参加したいと思います。



秋学期にはたくさん大変な日本の社会問題に対する研究をしましたが、その結果私たちは日本の社会問題について詳しく知ることができました。それから冬学期と春学期のゴールは私たちの研究から日本のコミュニティを支えることでした。イベントを作るのやアクティビティを決めるのは非常に難しかったです。何回もいいアイデアを考えて、できるかどうかを検証しなければなりませんでしたが、冬学期と春学期に何とか私たちのアイデアが形になりました。このクラスの思い出はいつまでも覚えていると思います。

大学に入ったばかりでたくさんの研究をするのは本当に大変でしたが、学期の最後で研究結果として論文を書いたので、大きな達成感がありました。冬学期と春学期は主にプロジェクトをしました。冬学期は雑祭りイベント、春学期は子供の日のイベントをそれぞれ行いました。企画をするところから始め、50人規模の活動を形にできたので、夢が叶ったと言っても過言ではないほど嬉しかったです。日本人コミュニティの子育てに力添えができて、本当に嬉しかったです。今後もこのような意義があるトピックを支えたいです。



デニス

秋学期: 日本の社会問題の研究
冬学期: ひなまつり(3月)
春学期: 子供の日(5月)



はるか

コミュニティー活動「子供の日イベント」

毎年、UCSDのプロフェッショナル日本語クラスでは春学期にサンディエゴの日本人のコミュニティーに貢献するイベントをします。2018年の春学期、「子供の日」というイベントを5月6日に行いました。このイベントはサンディエゴの現地の日本人コミュニティーグループが開催したイベントで、私たち学生はそこで共同主催としてボランティアさせていただきました。そして子供の日にふさわしいアクティビティを提供しました。3月に行った「ひなまつり」イベントで、私たち学生は参加してくれたご両親に子育てについてアンケートを取ったのですが、その結果、サンディエゴに住んでいる小さなお子さんがある日本人家族にとって、育児の中で大切なことは「子供に英語の本を読み聞かせること」と「日本の文化を教えること」でした。その2つの条件からプロジェクトを作るために、私たちはクラスで3つのゴールを決めました。

【アクティビティにおける3つのゴール】

- 1) 日本語と英語を使うこと
- 2) サンディエゴに住んでいる日本人の家族に日本の文化を伝えること
- 3) 親子の絆を深めること

私たちのゴールに合う活動を決めるのは非常に難しかったです。なぜなら、どのように英語と日本語を使って活動したらいいのか、どんな文化を伝えればいいのかまた、たった1時間でどのように家族の絆を深めたらいいのか、など疑問がたくさんあったからです。当初、「子供と両親と一緒に日本語と英語で書いた絵本を作ること」と「お父さんのアメリカに来た理由をコミックにする」という考えがありました。ところが、イベントのオーガナイザーさんに相談したところ、そのようなアクティビティは時間がかかるし、参加者の得意／不得意もあるので、絵本やコミックを子供と一緒にその場で作るのには難しすぎるのではないかというお返事をもらいました。そのお返事のおかげで絵本やコミックの代わりに子供の日のマスコット「鯉のぼり」を作るというアイデアが浮かびました。最初に、鯉のぼりを描くことを考えましたが、日本では鯉のぼりを描くことよりも、作ることのほうが多いと聞きました。そこで、親子で鯉のぼりを作ったり、鯉のぼりの歌を英語や日本語で歌ったりすることで、私たちの3つのゴールに合った活動を行うことができました。

当日、まず日本語と英語の歌詞が書かれた旗を参加者に渡して、日本語で鯉のぼりの歌を2回、それから英語でも1回歌いました。参加者と一緒に歌いたいと思っていましたが、皆恥ずかしくて声が小さくなってしまいました。参加者にとって、鯉のぼりの英語の歌詞は面白かったそうです。その後で、クラフトを作るアクティビティを始めました。2グループに分かれて、1つは小さい子供がいる家族達と草の上で作りました。もう1つのグループは子どもの年齢が高かったでテーブルの上でクラフトを行いました。クレヨンや色鉛筆で鯉のぼりの塗って、おりがみのように紙を折って、クリップを付けました。鯉のぼりを作る活動を通して日本の文化を楽しんでもらえてよかったです。





左上：鯉のぼりの色を塗っている子供。右上：鯉のぼりを作る指示と材料。
 左下：会場 中央下：鯉のぼりの歌詞が書かれた旗 右下：ハンズオンの様子

コメント



ヒヨンス

今学期の日本語135Cのクラスでは、クラスメート達と子供の日にイベントを開催しました。サンディエゴ圏に住んでいる日系家族を招待し、親子と一緒にハンズオンをしたり、新たな家族との繋がりを作ったりする素晴らしいイベントだったと思います。クラス内で学んだ内容を生かし、初めての方でも楽しく会話ができました。アメリカでの学生生活で実際に敬語を会話に取り入れる機会はまだなかったので今回のイベントが良い機会になりました。



阪本

イベントは大成功でした！まだ話せないお子さんが何人も参加したので鯉のぼりの歌を紹介するのは正解だと思いました。子供達が話せなくても歌で日本の文化を紹介して、英語と日本語を両方使うことができたので良かったです。参加者のお母さんと話したとき、彼女は嬉しそうに「赤ちゃんが喜んで歌っている」と言っていたので、親と子供達両方とも楽しめたと思います。

公園で子供とご両親と一緒に食事したり、こいのぼりの歌を歌ったり、そして紙のこいのぼりを作ったりしました。参加者の子供たちはほとんどがとても小さかったので、子供たちのご両親が手伝ってくれました。幼稚園に通っている子供は自分でこいのぼりを作りました。子供たちの嬉しそう顔を見ていて、私も嬉しかったです。クラスメートのおかげで、楽しいアクティビティができて、お子さんもご両親も嬉しそうだったので、このイベントは大成功だったと思います。



シェ

まとめ

サンディエゴ日本人コミュニティーのために日本語学習者ができること

UCSDでは毎年500人以上の学生が日本語のクラスを取っています。クラスでは言語だけではなく日本文化も学んでいます。特に上級レベルの日本語学習者たちは勉強したことをもっと社会に役立てる方法を探しています。そして、その一貫としてカルチャーイベントを行いサンディエゴでも日本文化を広める機会を作りたいです。これまで日本語を勉強する学生達が「子供の日イベント」のようなものを開催し、地域コミュニティーの方々と接したことはあまりないと思うので、これからもっと積極的に日本の文化や伝統的な行事に関連したアクティビティーを考えて、皆さんに喜んでもらえるような活動を行えると嬉しいです。

参加者の声

サンディエゴで、このような日本の文化交流が出来る事がとても貴重な機会と有難いです。学生の皆さんが熱心に日本文化の発信に貢献されている姿にも感動しました。有難うございます！ N.T.

ボランティアのみなさんとても優しく気配りのできる良い方達で、私達家族はとても幸せな気持ちになりました。サンディエゴに住みながら、こいのぼりの歌を歌って、かわいいこいのぼりを作ったことは、心に残り一生の思い出です。サンディエゴに住む日本の家族の方々と、親交を深めることができうれしかったです。皆さん、日本語がプロフェッショナルで、おどろきました。本当にすばらしいですね。ありがとうございました。リズ

サンディエゴにいながら、日本の伝統的な行事である「端午の節句」を体験できて嬉しかったです。
ボランティアの学生さんたちが歌や工作を用意してくれて、子どもとても楽しく参加できてお思います。特にこいのぼりの塗り絵は、かなり熱中していました。歌は歌詞カードを用意してくれて、助かりました。そして、何れも学生さんたちが一生懸命盛り上げてくれて、とても温かい気持ちにできました。
このイベントを通して、サンディエゴに住む日本人家族とも交流ができて、親子共々とても楽しめました。本当にありがとうございました。あや

Dear 135 Students,
I recently joined the Sesvie celebration of Children's Day at Doyle Park. My wife and son who are both Japanese especially enjoyed your Koinobori Song. As someone who used to live in Japan, your song and presentation made me return to my youthful time and pleasant memories of living in Japan.
どうもありがとうございました。
D. Joe

ボランティアのみなさん、日本のこいのぼりのために、みなさんが子供の日のイベントをやっていただき、ありがとうございます。海外で暮らしているから、日本文化に馴染むことができて、とてもうれしかったです。
おじいちゃん、日本語が上手で、子供達にも優しく話しかけて、子供達も喜んでいました。ありがとうございました。Hiro

We wanted to express our deep gratitude for the very generous help your student volunteers provided at our Family Connect events. The children and their parents thoroughly enjoyed the student volunteers' carefully made crafts and activities. These Family Connect events provide families interested in Japanese culture events a rare chance to gather and enjoy cultural activities together in San Diego. Your volunteers' hard work in creating decorations, translating songs, and preparing craft activities immeasurably added to everyone's experience. After the event, families repeatedly asked that we compliment and thank the student volunteers on their hard work. These families went home fondly remembering the sincere interest their San Diego hosts had in sharing a Japanese cultural experience. Thank you again for sharing with us your creative talents, earnest hard work, and humbling kindness. N.E.

学生が用意してくれたこいのぼりの歌とアクティビティのおかげで、家族みんなで楽しい時間を過ごすことができました。
親子で協力して作るこいのぼりは大切に子供部屋に飾ります。歌やアクティビティを通してサンディエゴに住む日本人家族の方とも親交を深めることができました。
息子の初節句、とても良い思い出ができました。学生の皆さん、本当にありがとうございました。ゆり

コメント



タン

この春学期は初めてJAPN135のシリーズを受けましたが、授業に入ってから楽しいことやためになることを体験できて、とても勉強になりました。受けて本当に良かったと思います。これまで少人数制のクラスで日本語んだことがありませんでしたが、友達ができやすいアットホームな環境に驚きました。複数の日本語のレベルの学生や日本人のボランティアさんとの共同作業は日本語力を深める環境としても良かったと思います。サンディエゴで実際に日本語力を生かしながら日本の文化活動を経験することができて感謝しています。



リュ

135のクラスを通して色んなことを学びました。まずは、アクティビティーをする時に、サンディエゴに住んでいる日本人の方と話し合う機会があったので、日本語を話す時に、前よりも自信ができました。そして、日本人と付き合う時の社交的なマナーも知ることができました。また、135は日本にある社会問題をテーマにするクラスなので、今の日本はどんな社会問題があるかをよく知ることができて、アクティビティーを通じて、前よりも社会問題を身近に感じられるようになりました。最後に、135で考えた案は本当に実行されるので、アクティビティーを計画する時と行われる時に、皆はどのように協力すべきか、そして、考えた案をどのようにうまく実行させるかも学ぶことができました。



バネッサ

私は他の人と話す時いつもちょっと恥ずかしいですが、サンディエゴに住んでいる日本人コミュニティーイベントでボランティアをさせてもらった時は、それよりも嬉しい気持ちが強かったです。その理由は、クラスメートと一緒に参加したイベントを通して、日本人のコミュニティーの生活や文化を少しずつ理解することができ、人と人が繋がると思うからです。イベントの準備はいつも大変だったけど、参加者は笑いながら、私達の作った活動を楽しんでくれたので、私は感動しました。

